

## 2023 年度第 3 四半期決算説明会

### 概要

---

日時：2024 年 1 月 31 日（水）15：30～16：30

スピーカー：株式会社 WOWOW 代表取締役 社長執行役員 田中 晃（以下、田中）  
取締役 副社長執行役員 山本 均（以下、山本）  
取締役 専務執行役員 井原 多美（以下、井原）  
専務執行役員 田代 秀樹（以下、田代）  
取締役 常務執行役員 尾上 純一（以下、尾上）  
執行役員 横山 誠一（以下、横山）

### 内容

---

司会：株式会社WOWOW 2023 年度第 3 四半期決算説明会を開催させていただきます。本日はお忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございます。

本日の説明会の内容と質疑応答に関しましては、外部機関を通じて弊社コーポレートサイトに全文書き起こしが掲載されますのでご了承ください。また、説明会で使用する資料は、弊社 IR サイト決算説明会資料のページに掲載しておりますのでご覧ください。弊社からの説明の後、ご質問をお受け付けさせていただきます。

本日の出席者をご案内させていただきます。代表取締役 社長執行役員 田中晃、取締役 副社長執行役員 山本均、取締役 専務執行役員 井原多美、専務執行役員 田代秀樹、取締役 常務執行役員 尾上純一、執行役員 横山誠一です。

田中より、2023 年度第 3 四半期決算ハイライトをご説明いたします。

田中：本日は決算説明会にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。

まず、1 月 1 日に発生いたしました能登半島地震により被災された皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。当社では、被災地のお客様の視聴料免除や、さかのぼってのご解約の対応などをさせていただいております。また、義援金 5 百万円を寄付させていただきました。

今後、復興に伴って、エンターテインメントの役割も生まれてくると思っております。避難所での

# WOWOW

WOWOWオンデマンドを活用した被災地応援の準備などを、今進めているところでございます。  
いずれにしましても、厳しい環境が続く中、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

## 2023年度第3四半期決算 ハイライト①

### 加入

- サッカーやNBA、音楽ライブなどが好評を得たことなどにより、前年同期と比べ82千件と大幅に増加
- 10月～12月の正味加入件数は、2017年10月～12月以来の純増

	2022年度 3Q	2023年度 3Q	前年同期差	2022年 10月～12月	2023年 10月～12月	前年同期差
新規 加入件数	380	<b>462</b>	82	99	<b>166</b>	68
解約件数	506	<b>543</b>	37	164	<b>163</b>	△1
正味 加入件数	△126	<b>△81</b>	45	△65	<b>3</b>	68
累計正味 加入件数	2,554	<b>2,479</b>	△76			
「UEFAチャンピオンズリーグ UEFAヨーロッパリーグ - 2023-24 シーズンパス」※		<b>11</b>	—			

(単位:千件)

※シーズンパスの件数は、加入件数には含まれません

©2024 WOWOW INC. | 3

それでは、第3四半期決算のハイライトをご説明いたします。

まず、加入についてです。新規加入は、スポーツや音楽ライブなどが好評を得たことなどにより、前年同期と比べて約8万件増加しました。一方、解約件数は前年同期に比べ増加、正味加入件数は8万1千件のマイナスとなりました。しかし、前年同期と比べて4万5千件の改善となっております。

特に、この10月から12月におきましては、正味加入件数が3千件のプラスとなりました。これは前年同期と比べ6万8千件と、大幅に改善しております。特に、1年超の長期加入のお客様の解約に関して、今年度上期と比較しても大幅に減少しております。明るい兆しが見えつつあると思っております。

### 収支（連結）

- 売上高は前年同期と比べ会員収入が減少したこと等により減収
- 経常利益は、広告宣伝費の減少や為替差損益の改善があったものの、売上高の減少による利益減等の影響により、減益に

(単位:百万円)

	2022年度3Q	2023年度3Q	前年同期差	前年同期比
売上高	57,633	55,334	△2,299	96.0%
経常利益	4,181	2,983	△1,197	71.4%

※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2024 WOWOW INC. | 4

収支のハイライトです。売上高は、前年同期と比べ、会員収入が減少したことなどにより減収となりました。経常利益は、広告宣伝費の減少や為替差損益の改善があったものの、売上高の減少による利益減の影響等により、減益となりました。

それでは、数字の詳細につきまして経営管理統括の尾上が説明いたします。

## 2023年度第3四半期決算 加入状況

WOWOW

(単位:千件)

	2022年度3Q	2023年度3Q	前年同期比較	
			前年同期差	前年同期比
新規加入件数	380	462	82	121.6%
解約件数	506	543	37	107.3%
正味加入件数	△126	△81	45	—
累計正味加入件数	2,554	2,479	△76	97.0%
内) 複数契約*1	362	341	△22	94.0%
内) 宿泊施設契約*2	81	84	3	104.2%
「UEFAチャンピオンズリーグ UEFAヨーロッパリーグ - 2023-24シーズンパス」*3		11	—	—

※1 同一契約者による2契約目と3契約目のデジタル契約に割引制度を適用（月額2,530円の視聴料金を990円に割引。金額は税込）

※2 宿泊施設の客室で視聴するための宿泊施設事業者との個別契約

※3 シーズンパスの件数は、加入件数には含まれません

©2024 WOWOW INC. | 6

尾上：IR 経理を担当しております、尾上です。どうぞよろしくお願いいたします。13 ページの配当計画まで、私がお説明させていただきます。

まず、加入状況です。新規加入件数は、46 万 2 千件です。サッカーのチャンピオンズリーグやバスケットの NBA などのスポーツコンテンツ、また B'z の音楽ライブなどが好評を得て、前年同期と比べ 8 万 2 千件と、大幅な増加となりました。

解約件数は、54 万 3 千件です。配信サービスとの競争激化に加え、目的番組終了による解約が増えたことなどにより、3 万 7 千件増加しました。

結果、正味加入件数は 8 万 1 千件の純減、累計正味加入件数は 247 万 9 千件と、7 万 6 千件の減少となりました。正味加入件数は純減ではありますが、前年同期に比べ 4 万 5 千件良化しております。

オリジナルドラマが好評を得たことに加え、12 月から Paramount+ を WOWOW オンデマンド上で開始したことなどにより、解約件数は改善傾向にあります。

また、9 月から 11 月にかけては 3 カ月連続で正味加入件数はプラスとなり、先ほどご説明したとおり、10 月から 12 月の正味加入件数はトータルで純増となりました。これは 2017 年以来となり、徐々に改善の兆しが見えつつあります。

## 2023年度第3四半期決算 収支状況（連結）

(単位:百万円)

	2022年度3Q		2023年度3Q		前年同期比較	
	実績	収入比	実績	収入比	前年同期差	前年同期比
売上高	57,633	100.0%	<b>55,334</b>	<b>100.0%</b>	△2,299	96.0%
営業利益	4,131	7.2%	<b>2,424</b>	<b>4.4%</b>	△1,707	58.7%
経常利益	4,181	7.3%	<b>2,983</b>	<b>5.4%</b>	△1,197	71.4%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	2,807	4.9%	<b>1,757</b>	<b>3.2%</b>	△1,049	62.6%

※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2024 WOWOW INC. | 7

連結の収支状況です。

前年同期と比べ、減収減益となりました。売上高は553億34百万円、22億99百万円の減収、経常利益は29億83百万円、11億97百万円の減益となりました。

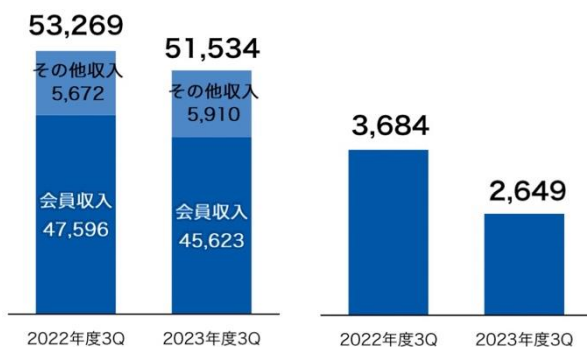
## セグメント別連結売上高/営業利益対比

WOWOW

### メディア・コンテンツ

(単位:百万円)

売上高	営業利益
前年同期比 <b>96.7%</b>	前年同期比 <b>71.9%</b>

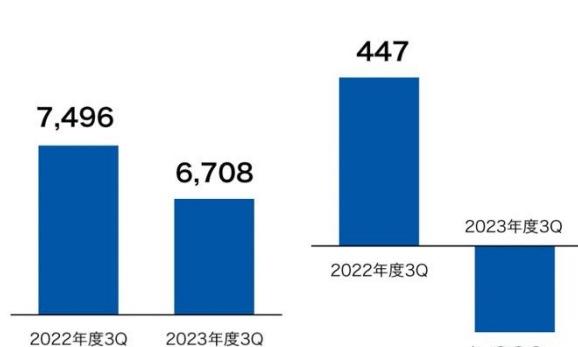


※それぞれ百万円未満は切り捨てております。  
※各セグメントの金額は、セグメント間取引を含んでおります。

### テレマーケティング

(単位:百万円)

売上高	営業利益
前年同期比 <b>89.5%</b>	前年同期比 <b>—</b>



©2024 WOWOW INC. | 8

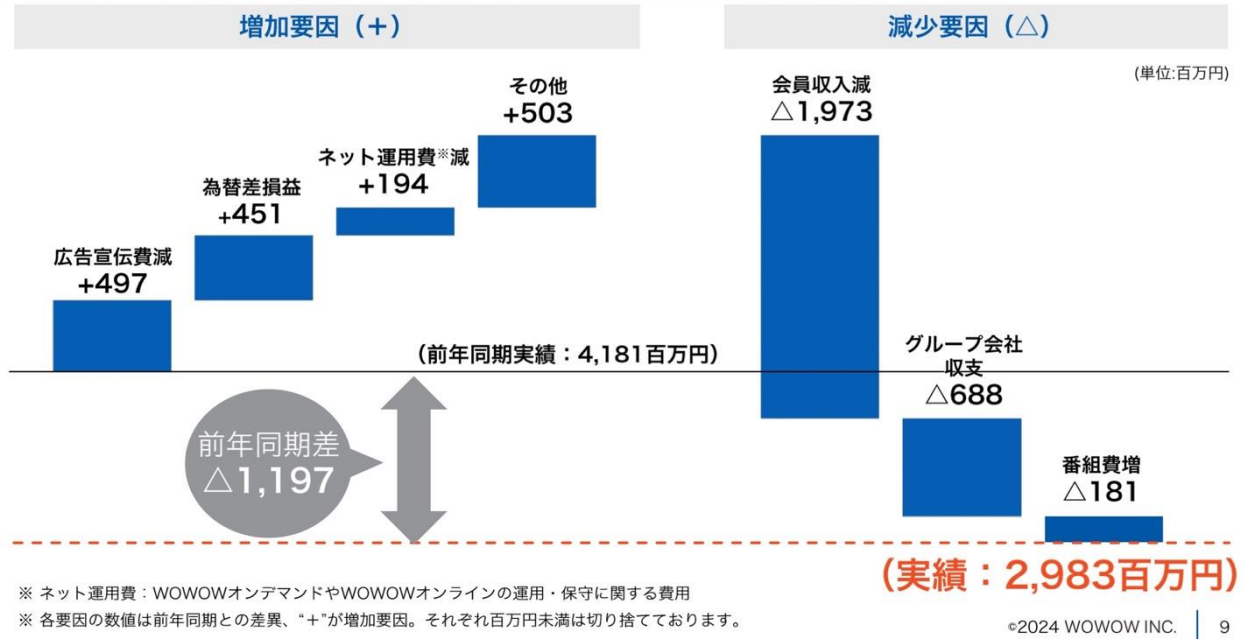
セグメント別の状況です。まず、メディア・コンテンツセグメントです。主にお客様からの視聴料である会員収入が、売上高の多くを占めております。

売上高は、その他収入が2億38百万円の増加となったものの、加入件数の減少により、会員収入が19億73百万円の減少となったことなどから、17億34百万円の減収となりました。営業利益は、売上高の減少などにより、10億35百万円の減益となっております。

次に、テレマーケティングセグメントです。連結子会社のWOWOWコミュニケーションズにおける事業となります。

グループ外のテレマーケティング業務が減少したことなどにより、売上高は7億87百万円の減収となりました。営業利益は、売上高の減少に加え、昨年8月に実施したフロストインターナショナルコーポレーション社買収の取得費用を計上したことなどにより、6億76百万円の減益となりました。

## 連結経常利益 前年同期との差異要因



連結経常利益の差異要因です。左側が利益の増加要因、右側が減少要因となります。まず、増加要因です。広告宣伝費が、前年同期と比べ4億97百万円減少しました。主にテレビCMの減少などによるものです。

為替差損益が、4億51百万円改善しました。前年同期は、年度初めに急激に円安に振れたため、前年度末に計上していた外貨建買掛金の評価損が発生し、為替差損を計上しましたが、当第3四半期は為替差益の計上となったことによるものです。

ネット運用費は、WOWOWオンデマンドの運用保守に関わる費用です。前年同期に、WOWOWオンデマンドアプリの刷新に関わる費用があったため、1億94百万円減少しております。その他は、ケーブルテレビなどに支払う手数料や販売促進費などの減少が、主な要因となっております。

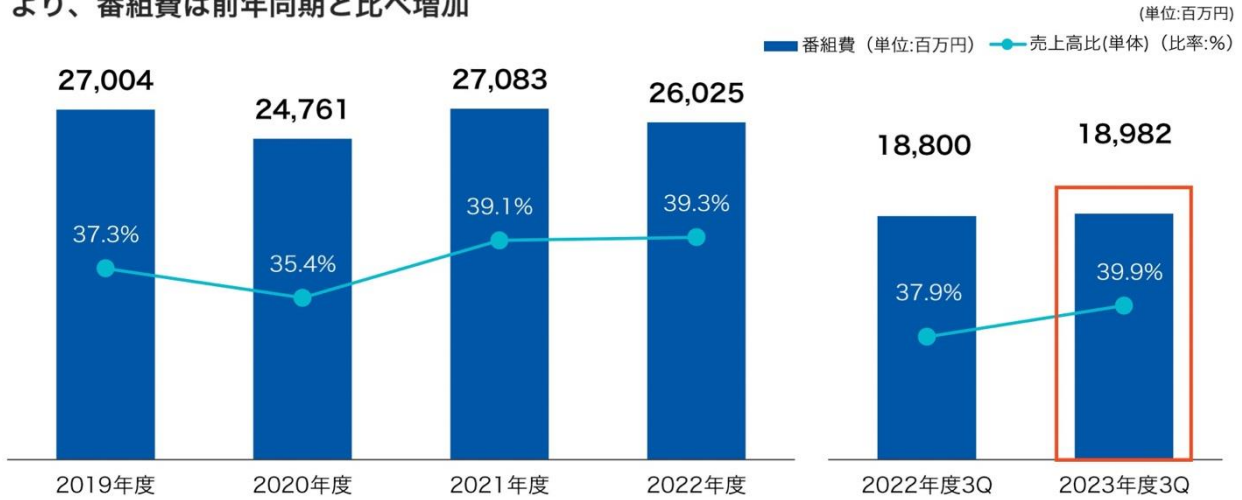
次に、減少要因です。会員収入は、19億73百万円の減少となりました。グループ会社収支は、6億88百万円悪化しました。テレマーケティングセグメントにおいて、グループ外の業務が減少したことに加え、先ほどご説明した企業買収の取得費用を計上したことなどによるものです。

番組費は、1億81百万円増加しております。次ページでご説明いたします。



## 番組費の推移

人気アーティストのライブやハリウッドメジャー映画のヒット作を放送・配信したことなどにより、番組費は前年同期と比べ増加



※数値はすべて単体  
※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2024 WOWOW INC. | 10

番組費の推移です。人気アーティストのライブやハリウッドメジャー映画のヒット作を放送・配信したことなどにより、番組費は189億82百万円と、前年同期に比べ1億81百万円増加しました。

## 2023年度 加入計画 (2023年10月31日公表値)

(単位:千件)

	2022年度 実績	2023年度 計画	内訳		前期差
			2023年度2Q 実績	2023年度 下期計画	
新規加入件数	551	<b>640</b>	296	344	89
解約件数	672	<b>720</b>	380	340	48
正味加入件数	△121	<b>△80</b>	△84	4	41
累計正味加入件数	2,560	<b>2,480</b>	2,476	2,480	△80

©2024 WOWOW INC. | 11

2023年度加入計画です。昨年10月に公表した数値と変更はございません。強力なコンテンツの増加等により、下期での正味加入件数純増を目指してまいります。

## 2023年度 収支計画(連結) (2023年10月31日公表値)

WOWOW

(単位:百万円)

	2022年度 実績	2023年度計画		前期差	前期比
		計画	収入比		
売上高	77,101	<b>75,500</b>	<b>100.0%</b>	△1,601	97.9%
営業利益	3,225	<b>900</b>	<b>1.2%</b>	△2,325	27.9%
経常利益	3,547	<b>1,600</b>	<b>2.1%</b>	△1,947	45.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,398	<b>700</b>	<b>0.9%</b>	△1,698	29.2%

※番組費：単体の売上高比として約40%を見込む（2023年度 単体売上高予想：64,400百万円）  
 ※想定為替レート：1ドル150円 ※それぞれ百万円未満は切り捨てております。

©2024 WOWOW INC. | 12

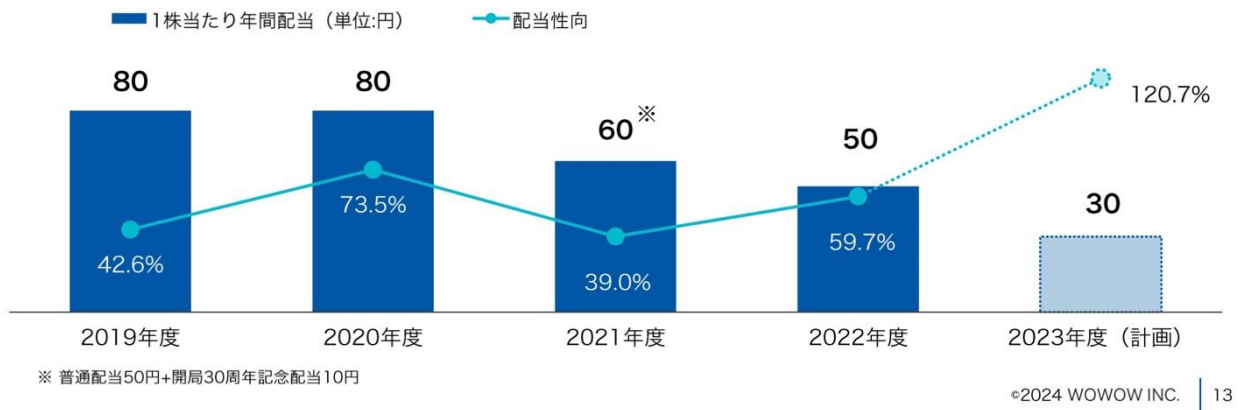
収支計画です。収支計画につきましても、10月の修正値から変更はございません。連結での経常利益16億円を目指してまいります。

## 2023年度 配当計画 (2023年10月31日公表値)

### 配当方針

各事業年度の業績、財務体質の強化、中長期事業戦略などを総合的に勘案して、内部留保の充実を図りつつ、継続的に安定的な配当を目指しております。

### 5カ年配当推移/配当性向



配当計画です。こちらも、公表値からの変更はございません。1株当たり配当30円を計画しております。

私からのご説明は、以上となります。

	<p><b>生中継!</b> <b>第96回</b> <b>アカデミー賞授賞式</b></p> <hr/> <p>3月11日(月)</p>		<p><b>YOASOBI</b> <b>ZEPP TOUR</b> <b>2024 "POP OUT"</b></p> <hr/> <p>3月10日(日)</p>
	<p><b>生中継!</b> <b>第66回</b> <b>グラミー賞授賞式®</b></p> <hr/> <p>2月5日(月)</p>		<p>連続ドラマW <b>坂の上の赤い屋根</b></p> <hr/> <p>3月3日(日)放送・配信スタート</p>

GRAMMY® GRAMMY Awards® and the gramophone logo are registered trademarks of the Recording Academy® and are used under license. ©2024 The Recording Academy.

©2024 WOWOW INC. | 15

田代：コンテンツ・クリエイティブ統括の田代でございます。今後の注目番組につきまして、私から説明します。

まず、日本時間3月11日に開催されます、第96回アカデミー賞授賞式です。日本作品が3作品もノミネートされました。

山崎貴監督の『ゴジラ-1.0』が、視覚効果賞に日本映画で初めてノミネートされたほか、宮崎駿監督の10年ぶりの新作長編アニメーション映画『君たちはどう生きるか』が長編アニメ映画賞に、役所広司さん主演映画、『PERFECT DAYS』が国際長編映画賞にノミネートされました。宮崎監督は、2003年に『千と千尋の神隠し』で長編アニメ映画賞を受賞しました。21年ぶりのオスカー獲得になるか、期待が高まります。

また、4月にはWOWOWとMax(旧HBO Max)が共同制作した、「TOKYO VICE Season2」がよいよスタートします。Season2では、アンセル・エルゴート演じるジェイクが、東京の犯罪の裏社会により深く入り込んでいきます。さらに、窪塚洋介さんや真矢ミキさんなどが新たに加わることになり、見どころいっぱいです。

	<p><b>欧州サッカー UEFA チャンピオンズリーグ 決勝トーナメント 開幕</b></p> <p>ベスト16 1st leg 〈2月14日(水)、15日(木)、 21日(水)、22日(木)〉</p>		<p><b>生中継! NBA オールスターゲーム 2024</b></p> <p>2月19日(月)</p>
	<p><b>欧州サッカー UEFA ヨーロッパリーグ 決勝トーナメント プレーオフ開幕</b></p> <p>1st leg &lt;2月16日(金)&gt; 2nd leg &lt;2月23日(金・祝)&gt;</p>		<p><b>LPGA 女子ゴルフツアー</b></p> <p>1月19日(金)スタート</p>

©2024 WOWOW INC. | 16

欧州最強クラブを決めるチャンピオンズリーグの決勝トーナメントが、いよいよ2月からスタートします。

注目は、久保建英選手が所属するレアル・ソシエダが、エンバペ選手を擁するパリ・サンジェルマンと対戦します。レアル・ソシエダが勝ち上がれば、クラブ史上初めてのベスト8となります。そのほかにも、富安健洋選手所属のアーセナルはポルトガルの名門ポルトと、鎌田大地選手所属のラツィオはドイツの強豪バイエルン・ミュンヘンと、それぞれ戦います。

さらに、UEFA ヨーロッパリーグにおいても、三笥薫選手、堂安律選手、遠藤航選手の所属チームも参戦するなど、日本人選手の活躍に期待しております。

また、LPGA 女子ゴルフツアーでは、畑岡奈紗選手、渋野日向子選手らの6人に加え、今シーズンは新たに3人の日本人選手が参戦します。今年のLPGAは、日本人選手総勢9人が世界最高峰の舞台を盛り上げていきます。

さらに、WOWOWオンデマンドでは、好評の日本人選手専用カメラを全試合でライブ配信します。ご期待ください。

私からは以上となります。

### 新たに「UEFAチャンピオンズリーグ UEFAヨーロッパリーグ -2023-2024決勝トーナメントパス-」を発売



※「UEFAチャンピオンズリーグ UEFAヨーロッパリーグ -2023-24決勝トーナメントパス-」（金額：7,480円（税込）、販売期間：2024年1月22日（月）～2月13日（火）、視聴可能期間：2024年6月30日（日）午後11:59まで）  
©2024 WOWOW INC. | 17

横山：メディア事業統括の横山です。マーケティング施策の強化について、私からご説明をさせていただきます。

昨年9月に発売し完売した、「UEFAチャンピオンズリーグ UEFAヨーロッパリーグ -シーズンパス-」に続き、新たに、「UEFAチャンピオンズリーグ UEFAヨーロッパリーグ -2023-2024決勝トーナメントパス-」を1月22日から発売しました。

発売と同時に、SNSでも非常に大きな反響をいただきました。チャンピオンズリーグ、ヨーロッパリーグの試合が全くない1月にも関わらず、順調に購入が進んでおります。例年、決勝トーナメント開幕に向けて加入は増えていく傾向ですが、トーナメントパスも今後購入が進むと期待しております。

2月13日の販売終了までまだ時間がございますので、引き続きプロモーションを強化し、認知拡大を図ることで、より多くのサッカーファンにお得に楽しんでいただきたいと思います。

## BMWの車載ビデオサービスにWOWOWオンデマンドが搭載予定

WOWOW



早ければ今年以降順次、WOWOWオンデマンドが視聴可能となる車両モデルが登場する予定。自動運転社会の到来を見据え、クルマが走るエンターテインメント空間に進化

※画像はドイツ連邦共和国におけるサービス

©2024 WOWOW INC. | 18

この度、新たに、ドイツの自動車メーカーBMW社の車載向けビデオサービスにWOWOWオンデマンドが搭載されることとなりました。BMWは、今月行われた世界最大級のテクノロジー見本市CESにおきまして、新世代の車載エンターテインメントの強化を発表しました。

自動運転時代の本格化を見据え、各社が車を走るエンターテインメント空間として再定義する動きが活発になりつつあります。まだ開発段階ではございますが、早ければ今年以降、順次、WOWOWオンデマンドが視聴可能となる車両モデルが登場する予定です。

今後、当社はモビリティの分野において、移動空間を新しいエンターテインメント空間に進化させる、こういったことに貢献したいと考えております。

私からの説明は以上です。





xikersに続き、韓国8人組ボーイズグループ、ATEEZの日本での単独公演について、放送・配信権の取得に加え、興行、物販、協賛の利用許諾も取得。

©2024 WOWOW INC. | 19

井原：事業統括の井原です。放送外収入を、私からご説明させていただきます。

まず、1月19日から公開した、弊社の製作主幹事の映画『ゴールデンカムイ』は初登場第1位と、大成功のスタートとなりました。こちらは、興行収入30億円以上を狙えるスタートとなっております。

ちなみに、2023年に公開された約1,000本近い映画の中で、30億円を超えた映画は14本しかありません。そのような形で、大ヒット映画を手がけられたことは大きな喜びです。皆さんも、ぜひご覧いただければと思います。

収入・収益拡大の新たな取り組みとして、IPを活用したビジネスの強化を行っております。第1弾のxikersに続き、第2弾として、韓国の8人組のボーイズグループ ATEEZ の日本での単独公演の放送・配信権に加え、興行、物販、協賛の利用許諾を取得しました。

ATEEZ は、昨年12月にリリースされたアルバムが初動170万枚を突破し、国内外のさまざまなチャートで上位を記録するなど、世界中から人気を集めております。

当社主幹による最新ワールドツアー、さいたまスーパーアリーナでの日本公演がいよいよ今週土曜日、日曜日に行われます。1月20日に一般発売したチケットは即日完売し、先行発売分も含め全席ソールドアウトとなるなど、人気の高さがうかがえます。

それでも、世界の評価と比較して日本での評価はまだまだということで、今後の成長のポテンシャルNo.1のグループだと思っています。われわれも大きく期待しておりますので、ATEEZをますま

す、われわれの力で盛り上げていきたいなと考えております。

私からは、以上となります。ありがとうございます。

## 質疑応答

---

司会 [M]：これから、質疑応答に移らせていただきます。それでは、ご質問をお受けいたします。

質問者 A [Q]：ご質問の機会をありがとうございます。よろしくお願いいたします。

2点だけ、『ゴールデンカムイ』についてうかがわせていただいてもよろしいでしょうか。先ほども非常に好調な滑り出しとご解説いただきましたが、社内のご想定と比較して、公開後の反応は上回るものだったのかと、今後の業績への期待感についてうかがえますでしょうか。

井原 [A]：ご質問ありがとうございます。

滑り出しとしては、われわれの期待どおりのスタートとなっております。また、何よりもうれしいのは、原作ファンからも厚く支持していただいております。映画の内容そのものへの評価が非常に高い、そういうことを考えますと、今後、長い興行が期待できるかなと考えております。売上に関しても、興行成績に関しても、われわれが主幹事の映画ということで、かつてないほど投資している関係で、リターンも大きなものが期待できると、手応えを感じております。

質問者 A [M]：ありがとうございました。以上になります。

司会 [M]：ありがとうございました。他にご質問がないようですので、こちらで終了させていただきます。それでは田中社長、最後に一言お願いいたします。

田中 [M]：あらためまして、本日は会見にご参加いただきまして誠にありがとうございました。もう1月も最終日です。新しい年を迎えまして、事業環境の厳しさは変わっておりませんが、本日で説明申し上げましたように、会員数の純増に関しても随所に明るい兆しが出ております。

また、『ゴールデンカムイ』やATEEZなどの、映画、イベント事業も元気です。本年も何卒ご支援を賜りたいと思います。本日はありがとうございました。

それでは、以上をもちまして2023年度第3四半期決算説明会を終了させていただきます。

本日はご参加いただき、誠にありがとうございました。

以上